

議会報告会実施報告書

開催日時	令和元年11月18日13時30分～15時	開催会場	岐阜医療科学大学
委員会名	教育福祉委員会		
委員長名	田原 理香		
参加者数	18人（5班・6班）		
実施内容	「高齢者対策」を中心とした意見交換		
質疑および 主な意見等	<p><5班> 司会 <u>野呂 和久</u> 記録者：<u>野呂 和久</u> 司会1：高齢者世代と若者世代の交流を図るには 意見1：日頃のあいさつで交流のキッカケがつけられる。（まずは顔見知り） 地域行事への参加。 スマホなどの若者の得意分野で講座等を開き交流の場をつくる。 誰でも参加できる（卓球等）地域や会社のスポーツ大会への参加。 地区センターの活動参加も固定化しているので、若い世代や男性も含め新しい方も参加できる仕組みづくりが必要。 若い世代（子育てなど）で、高齢者（家事など）でお互いの困っている部分を助け合える、近所で声を掛け合えるキッカケがあると良い。 交流のキッカケとなる場を創出するコーディネーターをつくる。</p> <p>【その他意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員（班長など）をやって頂くことや自治会の活動も高齢者は困難で、なかには自治会を辞めたいとの話しもある。 ・高齢者でも元気な方はいる。高齢者が若い人に何ができるかなど活躍できる場の創出を考えていくことが大切。 ・子育てをしている。地域の方に助けてもらえると嬉しい。子育て世代と高齢者のマッチングができると良いと思う。 ・長寿社会が言われている。寝たきり等にならず元気な老後生活を送る為に健康の予防が重要であるし、元気な高齢者が高齢者を支える高齢者同士の支え合う仕組みも大切で、こうした社会になればと考える。 ・高齢者は支援をする対象という考え方ではなく、高齢者を人生の先輩として力を発揮してもらおう場をつくり、どう活躍してもらおうかを考えた地域づくりが今後重要だ。 <p><6班> 司会 <u>富田 牧子</u> 記録者 <u>富田 牧子</u> 司会1：大学と地域との触れ合いについて 意見1：（岐阜医療科学大学）学内にボランティアサークルがあるので、情報をもらえたら、（地域の行事に）参加できるかもしれない。ホームページに載せてもらえるとよいと思う。 美濃加茂にも学習支援に行っているの、週1回ぐらいのペースなら（ボランティア活動に）参加できると思う。 帷子地区センター祭りや健康フェアでは血圧測定などやってもらっているの、学生さんの参加も可能だと思う。</p>		

久々利のふれあい祭りは昨日だったが、次回にはテント一つ設けて、健康チェックコーナーなどやってもらえるといいと思う。

若い人が地域に寄ってもらえると活性化につながる。

意見2：朝、車で通学しているが、小学校の集団登校には高齢者の見守りがあるが、中学校は見かけないので、中学校にも見守りがあるといい。

回答2：広陵中学校にはエール広陵というボランティアで下校を見守り組織があり、実施している。

意見3：尾西には高齢者の施設が多いが、可児市には少ないように思う。湯の華アイランドのバス停に並んでいる高齢者を多く見かけるので、そういう施設が増えたらいいかもしれない。

回答3：湯の華は市外からの人が多いように聞いている。また、高齢者施設をつくと社会保険料に跳ね返るので、それとの兼ね合いになるが、まだまだ施設の需要はたくさんある。

【その他意見】

- ・市職員で福祉を担当していた時、団地の独居、高齢者のみ世帯にアンケート調査を実施。高齢者からは、元気じゃなくなった時、手伝ってもらいたいという声があった。若葉台では、移動支援、食事会等に取り組んでいる。ボランティア、支えあいの中で地域で取り組めることがあるのではないか。
- ・(鳩吹台) 自治会の役員の高齢化が問題になっているが、やってもらっているとありがたい。私たちにやれと言われると困る。もっと頑張ってください。お祭りの準備などでは、少し若い世代が高齢者に指示をもらいながら力を発揮していきたい。しかし、新しいことを提案しても、自治会でなかなか聞いてもらえない。ペットと一緒に避難訓練を提案したら却下された。
- ・(久々利) 子どもが出て行った人、独居の人が目につく。地域で高齢者を見守るという話もあるが、日ごろ親しい人でも、中まで入り込むことは遠慮する。子どもが親の近くにいれば安心。地域には仕事はいっぱいある。久々利は良いところだから帰ってきてと聞いている。見守りが課題だが、やり手がない。
- ・介護士がいないので空いている施設もある。人材育成が大事。
- ・介護士の給料が安い。これでは家族が養えないと男の人が辞めていくことが多い。働いている人が幸せな職場環境でないとそこに居続けることはできない。可児市のここだったら充実して働けるという職場環境を整えないと、せつかくの医療科学大学の卒業生もよそへ行ってしまう。
- ・独居の人への支援だが、長い付き合いの人も高齢になっており、なかなかできない。突き詰めていくと家族でやってもらわないとできないのではないか。
- ・うちの自治会では、ポップサロンとか100円喫茶が60代の人で運営されていて、70代の方たちがそこに来る。また、小さい子連れの人もあるが、若い世代と一緒にやれるのは夏祭りだけ。